

令和5年度 第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会会議録（要約）

開催日時	令和5年6月29日（木） 午前10時00分～11時15分
開催場所	大府市立吉田児童老人福祉センター
出席委員	中部大学現代教育学部幼児教育学科教育助手兼至学館大学こども健康・教育学科（非常勤講師）橋本悦子、大府市民生児童委員協議会（児童部会長）伊藤きん子、児童センターファミリークラブ（吉田）荻巣佐知子、大府市老人クラブ連合会（副会長）花井静枝、小中学校校長会代表（大東小学校長）上野忍
事務局	大府市長、健康未来部長、子ども未来課長、子ども支援係長、福祉部高齢障がい支援課長、大府児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター館長、神田児童老人福祉センター北崎分館長、北山児童老人福祉センター館長、東山児童老人福祉センター館長、共和西児童老人福祉センター館長、共長児童センター館長、吉田児童老人福祉センター館長、石ヶ瀬児童老人福祉センター館長、子どもステーション所長、子どもステーション副主幹
欠席	大府市子ども会連絡協議会（会計 大東学区）西あすか
傍聴者	なし

1 開会

定刻となりましたので、ただいまから「令和5年度第1回大府市児童老人福祉センター等運営委員会」を開催いたします。本日の司会を務めさせていただきます、子ども未来課長の川出と申します。よろしくお願いいたします。この委員会は、「大府市児童老人福祉センター等運営委員会規則」にございますように、児童センター及び児童老人福祉センターの運営ならびに児童福祉に関する事項について審議をお願いする会議です。本日の会議は、6名の委員のうち西あすか様が欠席との連絡をいただいております。したがって、本会は委員6名のうち、1名の方が欠席ですが、過半数のご出席を賜りましたので、この会議は成立しました。会議の時間につきましては、1時間半を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。会議の開催にあたりまして、岡村大府市長からごあいさつ申し上げます。

（市長）

本日はお忙しい中、児童老人福祉センター等運営委員会に参加いただきありがとうございます。令和5年度最初の運営委員会になります。委員の皆さんよろしくお願いいたします。

大府市は都市データバンクの住みやすさランキングが44位でした。愛知県内では、長久手・名古屋市について3番目のランキングです。

大規模店舗が、午池及び大府小学校区に、1年後には完成する予定です。子育て支援においては、大府市はトイレ様式化及び体育館の空調設備100%を達成しております。児童センター1館、児童老人福祉センター7館と分館1館があり子育て世代、高齢者世代への支援については、公民館と共に誇るべく施設があります。石ヶ瀬児童老人福祉センターでは、eスポーツ室を整備し、高齢者の健康促進と子どもとの交流を図っています。東山児童老人福祉センターでは、国が進める、NPO等と

連携したこどもの居場所作り支援モデル事業で音楽体験を通し世代を超えた交流を行っています。全ての児童老人福祉センターで子ども会育成、子ども会支援、役員を支える活動を行っています。

児童老人福祉センターに対するご意見をいただき、運営に活かしていきたいと思えます。

(子ども未来課長)

ありがとうございました。続きまして、今年度新たに加わりました、老人クラブ代表 花井静枝様、小中学校校長会代表 上野忍様の2人の委員の方に委嘱状の交付をさせていただきます。

※市長による委嘱状交付

ありがとうございました。

ここで市長と健康未来部長は他に公務がございますので退席させていただきます。ありがとうございました。

本年度1回目の会議ですので、昨年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ割愛させていただきました自己紹介を、今年度は簡単に一言ずつ皆様をお願いしたいと思います。

※委員各自、名前及び所属を発言

※事務局各自、所属及び名前を述べる

議事の進行に移る前に資料の確認をさせていただきます。事前に会議資料を郵送しておりますがお持ちでしょうか。

それでは、規則第5条第1項に基づき、以降の議事の進行は議長である委員長に行っていただきます。橋本委員長、よろしく願いいたします。

2 協議

(1)「令和4年度児童老人福祉センターの活動実績と令和5年度活動計画について」

【資料1-1】

【資料1-2】

ア 吉田児童老人福祉センター館長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員)

子ども会支援で、内容が相談できると言われたがどのような内容が相談できるのか。

(事務局)

お楽しみ会などに行う遊びの内容の相談ができる。

(委員)

子ども会役員をやった時に、相談させてもらい良かった。ファミリークラブに入っているが、老人趣味のクラブや子どもクラブなどたくさんあると感じた。

(委員)

いろいろな活動があると思った。子どもが以前、子どもたちで劇ができるクラブ

に入っていた。子ども会は、以前役員をやった時は、自分たちで考えて活動していた。草取りや焼き芋など、準備もいろいろあったが協力して行った。子ども会は、今もあるのか。

(事務局)

地域によっては、無くなっているところもある。会員が増えるよう支援していきたい。

(委員)

今は、フルタイムで働いている方が多いが、子ども会をやれたら思い出になると思う。

(委員)

三世代交流の活動が地域でできるのは良いことである。子ども会は、子どもの人数が減っているし、高学年になると役員にならないといけないということでやめていくようです。保護者の運営だと、フルタイムの就労で時間がないので負担もあり難しいと思います。学校としても、以前は新1年生の名簿を渡していたが、個人情報保護ということで、伝えることもできない状況になっている。市で、対策をとれるとよいと思う。

(2)「東山児童老人福祉センター（指定管理館）の令和4年度活動計画について」

【資料No.2】

ア 東山児童老人福祉センター館長（代理発表者 特定非営利活動法人みらいっこ理事長）よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員長)

独自の取組みがされています。

(委員)

お仕事体験とは何をするのか。体験をしてポイントをもらい、センターまつりで使うのか。

(事務局)

窓ふき、本の整理など小さい子から取り組めるような簡単な作業を用意している。ポイントはセンターまつりなどで使うことができる。

(委員)

生ミュージックに触れるのはいいことだと思う。子どもが高学年になったら、楽器に触れると楽しみにしていたが、コロナの関係で授業でしか触れなくなった。近くで、楽器に触れる・聴けるとするのは良い取り組みだと思う。

(委員)

音楽体験は大人でもできますか

(事務局)

できます。

(委員)

いろいろな企画があると思った。人数が少ないからやめる、少ないから無理やり人を動員するのはどうかと思う。機会を作り、体験させることが大切と思う。成果

にこだわらずチャレンジすることがいいと思う。

(委員長)

便利な家電ができ、掃除ができない・雑巾が絞れない学生の姿がある。仕事体験は、やらされるのではなく自分でやる体験でいいと思う。

(3)「令和4年度子育て支援の活動実績と令和5年度活動計画について」

【資料No.3-1】

【資料No.3-2】

【資料No.3-3】

ア 子どもステーション所長よりパワーポイントで説明

○質疑応答

(委員長)

子育て支援の視点での報告でした。

(委員)

ファミリーサポートの援助会員の年齢はどのくらいか。援助会員を選ぶのは、近くに住んでいる人を選ぶのか。子どもの送りは、どのようにしているのか。料金は無料か。

(事務局)

子育て中の方や子育てを終えられた方で、年齢の上の方もいる。近くの方やその時間帯に援助活動ができる方でマッチングをしている。子どもの送りは、依頼会員の自宅に行く、援助会員の自宅で保護者が迎えに来るまで待つ、センターのような施設で待つなど様々です。有償ボランティアになり有料になります。

(委員)

交流会や講習会は、良い取り組みと思う。交流会で知り合った人とは、今でも交流が続いている。みんなで集まる講座もいいと思う。0歳児を持つ親の交流会に参加することで輪ができていくと思う。

(委員)

40年前にはなかった。3歳児健診で耳に異常があると言われ、保健センターが指導してくれた。

(委員)

ファミリーサポートの子どもの迎えとは、放課後クラブから自宅までということか。毎日の依頼もあるのか。

(事務局)

いろいろなケースがある。放課後クラブから自宅、放課後から子どもステーションそして自宅といったケースもある。毎日の依頼はないわけではないが、毎日の利用は、援助会員が見つからないこともあるので難しい。

(委員)

ファミリーサポート事業を知らない人もいるので、PRするとよい。

(委員長)

小学校のときに転入した場合など知らない人もいるかもしれない。PRするとよい。

3 その他

(子ども未来課長)

児童センターは9館、子どもステーション1館がある。石ヶ瀬のeスポーツには、子どもがたまるかと心配していたが高齢者が集っている。児童センターは横並びではなく、特色を持たせた運営をしていきたい。大府は、風呂撤去後には食事もできるサロンを予定している。

次回の日程について、次第に添って説明。

児童センターだより7月分を封筒に入れて配布しています。来月分以降のたよりにつきましては、本市ウェブサイトに掲載していますのでご覧ください。

相手方登録申請書、個人番号届出書の提出の依頼。報酬対象の委員の方への振り込みの説明。